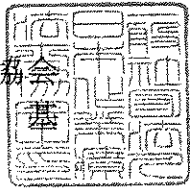


日作協作 588 号
2020 年 3 月 2 日

厚生労働省 医政局 医事課
試験免許室 御中

一般社団法人 日本作業療法士協会
会 長 中 村 春



第55回作業療法士国家試験問題について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の活動にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、2月23日に実施されました第55回作業療法士国家試験問題につきまして全国の作業療法士学校養成施設に問題の妥当性についてアンケート調査を実施しましたところ、199校(211課程)中122校(61%)から「適切でないと思われる」とする回答がありましたので、それらの回答について次の3つの方針に基づいて検討を行いました。

- (1) 全国の作業療法士学校養成施設から寄せられた「国家試験として適切でないと思われる問題」のみを検討の対象とすること。
- (2) 当協会担当部署においてさらに検討を重ね、「国家試験として適切でないと思われる問題」に限定して意見を具申すること。
- (3) 国家試験問題の範囲や難易度についての意見を具申するものではないこと。

その結果、設問内容の適切さ及び出題形式（図や設問の説明）について下記の意見を述べさせていただきます。また、特に検討していただきたい5つの問題（午前3問題、午後2問題）につきましては、別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記いたしました。

ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

- I 複数の解が選択できると思われる4問題（午前45・53・54、午後8）について、複数の選択肢を正解とすることが望ましいと考える。また、提示された選択肢からは解を選択する判断ができないと思われる1問題（午後35）について、採点から除外することが望ましいと考える（別添資料1-1～1-5参照）。
- II その他の意見
用語や設問の表現が不適切であり選択肢の理解に戸惑う4問題（午前78・81・95、午後42）、消去法や優先順位等から解は選べるものの該当すると言い切れない1問題（午前23）、消去法や優先順位等から解は選べるものの他の選択肢も該当する可能性がある3問題（午前84、午後44・90）があると考えます。

第55回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(令和2年2月23日実施)

午前 問題

問題番号 (45)

45 メタボリックシンドロームの改善を目的とした統合失調症患者の評価で優先すべきなのはどれか。

1. 睡眠状態
2. 対人関係
3. 入浴状況
4. 認知機能
5. 服薬内容

解：4、5（複数の解が選択できる）

理由

抗精神病薬の副作用によって、メタボリックシンドロームが高まる薬剤が存在することより、選択肢「5」の服薬内容を確認・評価する必要がある。また、メタボリックシンドロームの改善を目的とする食生活管理や運動療法を実施するためには、選択肢「4」の認知機能の評価も必要となる。

解：選択肢「4」と「5」の複数の解が選択できる。

参考とする文献

1. American Diabetes Association : Diabetes Care 27, pp596-601, 2004.
統合失調症通院患者のメタボリック症候群に関する大規模調査から。
2. 清水恵子 : 統合失調症患者のメタボリックシンドロームに関連する研究の概要と今後の課題. 山梨県立大学看護学部紀要, 第11巻, pp39-47, 2009.

午前 問題

問題番号 (53)

53 関節と関節構造の組合せで正しいのはどれか。

1. 手のMP関節 —— らせん関節
2. 橈骨手根関節 —— 鞍関節
3. 上橈尺関節 —— 顆状関節
4. 腕尺関節 —— 蝶番関節
5. 肩鎖関節 —— 平面関節

解：4、5（複数の解が選択できる）

理由

文献1、2、3によれば、選択肢「1」、「2」、「3」は明らかに誤っている。また、選択肢「4」、「5」は正答である。

解：選択肢「4」と「5」の複数の解が選択できる。

参考とする文献

1. 中村隆一他：基礎運動学. 第6版補訂, 医歯薬出版. p68, p225, 2016.
2. 野村巖編：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学. 第4版, 医学書院. p115, p119, 2015.
3. 野村巖編：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学. 第5版, 医学書院. p123, p128, 2020.

午後 問題

問題番号 (54)

54 手根管を通過しないのはどれか。

1. 深指屈筋腱
2. 浅指屈筋腱
3. 長母指屈筋腱
4. 尺側手根屈筋腱
5. 橈側手根屈筋腱

解： 4、5 (複数の解が選択できる)

理由

文献1によれば、手根管内を通過するものは、「正中神経、長母指屈筋腱、4本ずつの浅指屈筋腱と深指屈筋腱、橈側手根屈筋腱」とされており、選択肢「4」は正しい。

文献2によれば、手根管を走行する腱に橈側手根屈筋腱は含まれないとされており、選択肢「5」は正しい。

解：選択肢「4」と「5」の複数の解が選択できる。

参考とする文献

1. 中村隆一，齋藤宏，長崎浩：基礎運動学. 第6版，医歯薬出版. pp230, 2013.
2. 井樋栄二他：標準整形外科学. 第14版，医学書院. pp471, 2020.

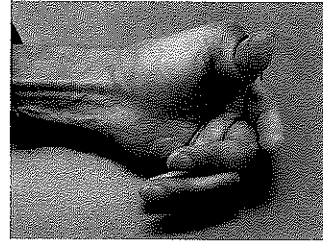
午後 問題

問題番号 (8)

8 58歳の女性。関節リウマチ。SteinbrockerのステージIV、クラス3。左手の写真(別冊No.1)を別に示す。
使用する装具で正しいのはどれか。

1. ナックルベンダー
2. Oppenheimer 型装具
3. IP関節伸展補助指装具
4. タウメル継手式手関節装具
5. PEライト製手関節軟性装具

No. 1 (O 問題8)



解：3、5 (複数の解が選択できる)

理由

選択肢「1」、「2」、「4」は、関節リウマチには適さない。選択肢「3」は、過伸展している母指IP関節には適さないが、第4・5指のPIPをIP関節と考えれば正答となる。また、選択肢「5」も、ステージから手関節の強直・動揺・疼痛があると想定すれば正答となる。

解：選択肢「3」と「5」の複数の解が選択できる。

参考とする文献

1. 井樋栄二他：標準整形外科学. 第13版, 医学書院. p464, 2017.
2. 矢崎潔：手のスプリントのすべて. 第4版, 三輪書店. p161, 2015.

第55回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(令和2年2月23日実施)

午後 問題

問題番号 (35)

35 Guillain-Barré症候群で正しいのはどれか。

1. 自律神経障害を伴わない。
2. 症状は上肢近位筋から始まる。
3. 上肢の症状は左右非対称である。
4. 先行感染数時間後に症状が現れる。
5. 我が国では脱髄型の方が軸索障害型よりも多い。

解：解なし

理由

文献1、2、3、4より

1. 自律神経障害は伴うため誤り
2. 症状は下肢や四肢から始まるため誤り
3. 上肢の症状は左右対称のため誤り
4. 先行感染から1～3週で発症のため誤り
5. 日本では軸索型が多いため誤り

解：提示された選択肢からは解を選択することができない。

参考とする文献

1. 吉尾雅春他：標準理学療法学 神経理学療法学. 第2版, 医学書院. p368, 2018.
2. 菅原洋子編集：作業療法全書. 改訂第3版, 第4巻, 身体障害. 協同医書出版社. p231, 2014.
3. 長崎重信編集：作業療法学ゴールドマスターテキスト4 身体障害作業療法学. メジカルビュー社. p363-365, 2010.
4. 日本神経学会ガイドライン. ギランバレー症候群、フィッシャー症候群ガイドライン2013.